 東京	京工業高等	 穿専門学	校	開講年度	平/	 成31年度 (2	019年度)	授	 受業科目	数学総	 合演習	(基礎	<u>*</u>	
科目基礎				,		\-	- 1.~/			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
<u>17 山金)</u> 科目番号		9253	3				科目区分		一般/選	 张				
授業形態		授業	,				単位の種別と	並付数	学修単位					
開設学科			 工学科				対象学年	+177	4	2				
開設期	l	後期	T-7-11			週時間数	2							
	授期 技期 技術書/教材					1								
担当教員			<u> </u>	-SV IGKTI	02331-	1日次 0 フ フ フ	· 1 X/1/J							
		ידיינין	= ==											
到達目 1. 高専で 2. 高専	で学んだ数学	デ 学をより グ大学へ <i>の</i>	深く理解で D編入試験	する事が出来る 験問題を解く	る. 事が出	 来る.								
レーブ			- 1,110 - 12-412	3 (1 3) C C (13) V .		.,								
			理想的な	到達レベルの	目安	目安 標準的な到達レベルの目安 到達レ			達レベルの目安(可) 未			k到達レベルの目安		
評価項目	1			入試験レベル	の問		入試験レベルの 基本的な					基本的な演習問題を解く		
			題を解く事が出来る.			問題を解く事が出来る.		が出来る	が出来る. カ		が出来な	が出来ない		
平価項目														
平価項目														
学科の	到達目標了	項目との	D関係											
数育方》	 法等						<u> </u>							
灰(13+2+ 既要	·	東京	高専卒業	生の約半数は	就職し	ノ、約半数は高い るための演習で	専政科や大学	に進学す	る. 学生の	回幅広い将	来の選択	技に応	える為,高	
	 め方・方法					「るための演習。 目は学修単位和								
文来の <u>に</u> 主意点		高専	で学んだ	数学をよく復	習して	おく事.	コロッパののサ	FIX	, <u> </u>	H .	<u>'''' 다 다 기</u>	<i>,</i>	0	
^{ェ恩紀} 授業計i	 庙i			慣を身に着け										
又未可し	ᄪ	週	授業					週ごと	この到達目	票				
		1週		ガイダンス										
		2週		基礎数学復習				基礎类	 対学の内容(の問題が飽	エー・エー・ 望ける			
		3週		举啶数子按自 基礎数学復習				基礎数学の内容の問題が解ける						
		4週	微分				1変数の微分の計算が出来る.							
	3rdQ	5週	積分				1変数の積分の計算が出来る.							
			5週 慎分 信微分 信微分									が出本		
		7週							多変数(特に2変数)の微分の計算が出来る. 多変数(特に2変数)の積分の計算が出来る.					
		8週	重積分 微分方程式											
		0週				/ニカリーナ			および2階の常微分方程式を解く事が出来る 訓式の計算が出来る					
		9週	9週 行列式・連立一次			方程式		連立-	行列式の計算が出来る. 連立一次方程式を解く事が出来る.					
1270		10週 行列 。		川と一次変換				行列σ	逆行列やべき乗を求める事が出来る. 行列の階数を求める事が出来る. 一次変換によって写される図形を求める事が出来る			が出来ス		
		11週 固有化		 9値・固有ベクトル				行列の固有値・固有ベクトルを求め、対角化する						
	4thQ	ļ	12週 問題演習					出来る	ο.					
		13週		演習										
				題演習 +=+5-45-5										
		15週	川木	明末試験										
 "			\ \tag{774.21}	기타하 나지!	÷ — .:									
	<u> コアガリ</u>			引力容と到達			FS.				7:11×+·		1427117	
)類	1	分!	野	学習内容		内容の到達目標						バル	授業週	
基礎的能力					整式の加減乗除の計算や、式の展開ができる。 因数定理等を利用して、4次までの簡単な整式の因数分解ができる。 分数式の加減乗除の計算ができる。			3						
								₹ 3						
								 計算ができる。			3			
							要数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算。 関数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算。		単な計管カ	 バできろ	3			
					平方根の基本的な計算ができる(分母の有理化も含む)。 複素数の相等を理解し、その加減乗除の計算ができる。			3						
								3						
				数学	解の公式等を利用して、2次方程式を解くことができる。			3						
	· 力 粉学	数学	₩					7						
	力 数学		1		。 はなべては、 本本では、 本本では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、				ි 3					
					簡単な連立方程式を解くことができる。				3					
					無理方程式・分数方程式を解くことができる。					3				
					1次不等式や2次不等式を解くことができる。				3					
	I				恒等式と方程式の違いを区別できる。				3					
					2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最					t				
					2次	関数の性質を理	解し、グラフを	シかくこと	とができ、	最大値・晶	曼 っ			
					小値	関数の性質を理 を求めることが 関数や無理関数	ができる。				3			

簡単な場合について、関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。	3
累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用すること ができる。	3
指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3
指数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3
対数の意味を理解し、対数を利用した計算ができる。	3
対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3
対数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3
	3
角を弧度法で表現することができる。	
三角関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3
加法定理および加法定理から導出される公式等を使うことができる。	3
三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3
三角比を理解し、簡単な場合について、三角比を求めることができる。	3
一般角の三角関数の値を求めることができる。	3
2点間の距離を求めることができる。	3
	3
2つの直線の平行・垂直条件を利用して、直線の方程式を求める ことができる。	3
簡単な場合について、円の方程式を求めることができる。	3
間単な場合にプバイ、円の万住式を求めることができる。 放物線、楕円、双曲線の図形的な性質の違いを区別できる。	
	3
簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式 で表すことができる。	3
積の法則と和の法則を利用して、簡単な事象の場合の数を数えることができる。	3
簡単な場合について、順列と組合せの計算ができる。	3
等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができる。	3
総和記号を用いた簡単な数列の和を求めることができる。	3
不定形を含むいろいろな数列の極限を求めることができる。	3
無限等比級数等の簡単な級数の収束・発散を調べ、その和を求めることができる。	3
ることができる。 ベクトルの定義を理解し、ベクトルの基本的な計算(和・差・定数倍)ができ、大きさを求めることができる。	3
平面および空間ベクトルの成分表示ができ、成分表示を利用して 簡単な計算ができる。	3
平面および空間ベクトルの内積を求めることができる。	3
問題を解くために、ベクトルの平行・垂直条件を利用することが	3
できる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる(必要に	3
応じてベクトル方程式も扱う)。 行列の定義を理解し、行列の和・差・スカラーとの積、行列の積	
を求めることができる。	3
逆行列の定義を理解し、2次の正方行列の逆行列を求めることができる。	3
行列式の定義および性質を理解し、基本的な行列式の値を求める ことができる。	3
線形変換の定義を理解し、線形変換を表す行列を求めることがで きる。	3
合成変換や逆変換を表す行列を求めることができる。	3
平面内の回転に対応する線形変換を表す行列を求めることができる。	3
び 簡単な場合について、関数の極限を求めることができる。	3
微分係数の意味や、導関数の定義を理解し、導関数を求めること	3
かできる。 積・商の導関数の公式を用いて、導関数を求めることがができる	3
。 合成関数の導関数を求めることができる。	3
	3
三角関数・指数関数・対数関数の導関数を求めることができる。	
逆三角関数を理解し、逆三角関数の導関数を求めることができる。	3
関数の増減表を書いて、極値を求め、グラフの概形をかくことが できる。	3
極値を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。	3
簡単な場合について、関数の接線の方程式を求めることができる。	3
。 2次の導関数を利用して、グラフの凹凸を調べることができる。	3
関数の媒介変数表示を理解し、媒介変数を利用して、その導関数	3
を求めることができる。 不定積分の定義を理解し、簡単な不定積分を求めることができる	3
0	ا ا

			置換積分および部分とができる。	分積分を用いて、不	下定積分や定積分を	:求めるこ	3	
			定積分の定義と微積 ることができる。	責分の基本定理を理	里解し、簡単な定積	分を求め	3	
			分数関数・無理関数 ・定積分を求めるこ		対関数・対数関数 <i>の</i>	不定積分	3	
			簡単な場合について ることができる。	て、曲線で囲まれた	と図形の面積を定積	分で求め	3	
			簡単な場合について。	て、曲線の長さを定	E積分で求めること	ごができる	3	
			簡単な場合について。	て、立体の体積を定	€積分で求めること	:ができる	3	
			2変数関数の定義域 る。	を理解し、不等式	やグラフで表すこ	とができ	3	
			合成関数の偏微分況 。	去を利用して、偏導	算数を求めること	:ができる	3	
			簡単な関数について 。	て、2次までの偏導	関数を求めること	ができる	3	
			偏導関数を用いて、 きる。	基本的な2変数関	数の極値を求める	ことがで	3	
			2重積分の定義を理 めることができる。	!解し、簡単な2重種	責分を累次積分に直	重して求	3	
			極座標に変換するこ	ことによって2重積	分を求めることが [・]	できる。	3	
		1 1	2重積分を用いて、				3	
		I +	************************************			10-1-47	3	
			簡単な1階線形微分	 方程式を解くこと	ができる。		3	
		I +	定数係数2階斉次線				3	
		I +				市色の斑	_	
			独立試行の確率、分率を理解し、簡単な	は場合について、研	筆率を求めることか	できる。	3	
			条件付き確率、確率の乗法定理、独立事象の確率を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。					
			1次元のデータを整理して、平均・分散・標準偏差を求めることができる。				3	
			2次元のデータを整理して散布図を作成し、相関係数・回帰直線を求めることができる。				3	
			簡単な1変数関数の局所的な1次近似式を求めることができる。					
			1変数関数のテイラ ン展開を求めること		基本的な関数のマ	クローリ	3	
			オイラーの公式を用 できる。	別いて、複素数変数	めの指数関数の簡単	は計算が	3	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
· ·	-	0	0	1	0	0	0	
分野横断的能力	0	Įυ	Įυ	0	Įυ	Įυ	Įυ	